

# 成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成(enPiT)



平成29年度予算額 9億円 (平成28年度予算額 7億円)

## 背景

- サイバーセキュリティ、IoT、ビッグデータ、人工知能、組み込みシステムなど、情報技術を高度に活用して、社会の具体的な課題を解決することのできる人材の育成は急務であり、我が国の極めて重要な課題
- 今後のIT需要の拡大にもかかわらず、労働人口の減少から、IT人材不足が今後一層深刻化する可能性が高い

例えば、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を成功に導くためにもセキュリティ技術者等の高度のIT技術者の育成は不可欠  
Society5.0を実現するためには、ビッグデータ、人工知能等の情報技術の利活用が重要な鍵を握る  
また、長期的視点からも、学部教育でのアクティブラーニングの推進や、大学における社会人学び直し機能の強化は喫緊の課題

## 高等教育機関の役割

- 学生に対する実践的教育の推進：大学教育改革により、質の高い情報技術人材を多く輩出すること
- 社会人学び直しの推進：個々の情報技術人材の生産性を高めるための学び直しに貢献すること



### <産業界に期待する役割(例)>

- ✓ 産業の魅力向上(処遇・キャリア)
- ✓ 流動性向上により高付加価値領域への人材配置
- ✓ 高い競争力の実現→企業収益の確保→優秀な情報技術者に対する高い処遇という好循環の実現

第四次産業革命や働き方改革に貢献

## enPiTの概要

Education Network for Practical Information Technologies (エンピット)

産学連携による課題解決型学習(PBL)等の実践的な教育の推進により、大学における情報技術人材の育成機能強化を目指す取組

### ① 学生に対する実践的教育の推進

H29年度は公募対象外

#### 大学院生に対する第1期enPiT

平成24～28年度(5年間)  
15大学連携による取組



#### 学部生に対する第2期enPiT

平成28～32年度(5年間)  
34大学+αの連携による取組



連携協力

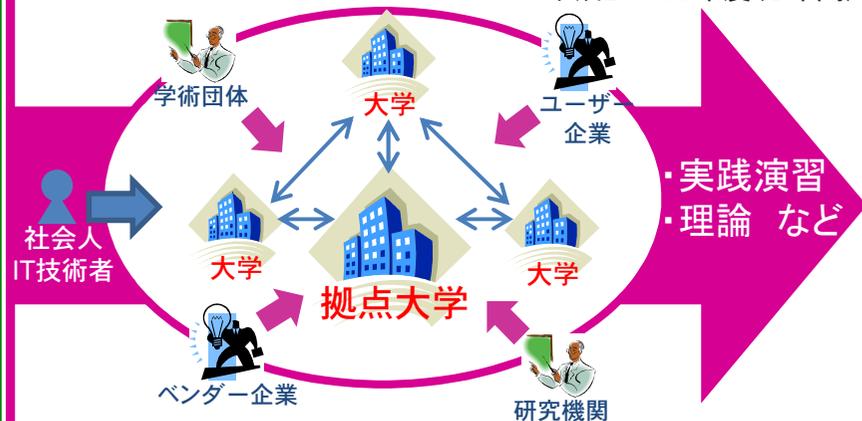
- 大学間連携により、PBL中心の実践的な情報教育を行う
- 教育ネットワークを構築し、開発した教育方法や知見を広く全国に普及させる
- 産業界と強力な連携体制を構築する

### ② 社会人学び直しの推進

H29年度の公募対象

#### 社会で活躍するIT技術者の学び直しを推進するenPiT-Pro

平成29～33年度(5年間)



- 大学が有する最新の研究の知見に基づき、情報科学分野を中心とする高度な教育(演習・理論等)を提供する
- 拠点大学を中心とした産学教育ネットワーク構築し、短期の実践的な学び直しプログラムを開発・実施する